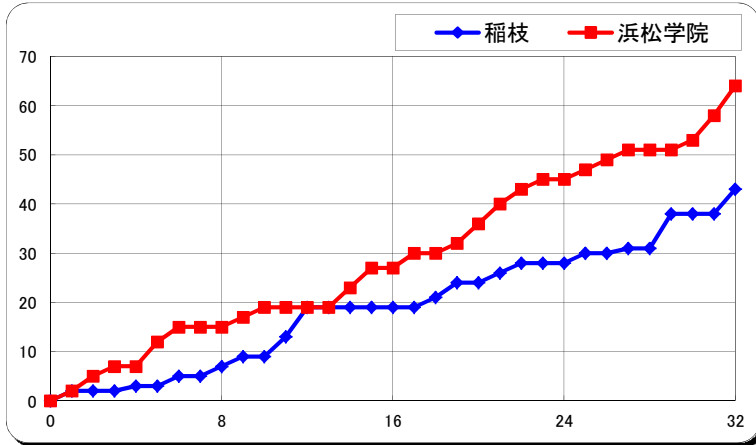




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	春日部市総合体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 13:30																
コート	Eコート	第4試合															
カテゴリ	男子	予選Eリーグ															
主審	岡崎 武史 (千葉県)																
副審	駒村 匡昭 (埼玉県)																
Team A		Team B															
稲枝 (滋賀県)	43	64 浜松学院 (静岡県)															
	<table border="1"> <tr><td>7</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>19</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	7	1st	15	12	2nd	12	9	3rd	18	15	4th	19	OT			
7	1st	15															
12	2nd	12															
9	3rd	18															
15	4th	19															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		稲枝					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	奥野 綾汰	×	8	0	2	4	4
5	寺田 春平	×	16	3	3	1	3
6	赤田 智	×	2	0	1	0	2
7	青木 光	×	14	2	4	0	0
8	松村 拓実	×	3	0	1	1	0
9	大前 敦裕	/	0	0	0	0	0
10	福澤 太一	/	0	0	0	0	0
11	木澤 昇希	/	0	0	0	0	1
12	福原 直樹	DNP	0	0	0	0	0
13	福原 和樹	DNP	0	0	0	0	0
14	中島 健登	DNP	0	0	0	0	0
15	筒井 隆稀	DNP	0	0	0	0	0
16	永井 大樹	DNP	0	0	0	0	0
17	吉川 慎哉	DNP	0	0	0	0	0
18	小宮山 裕貴	DNP	0	0	0	0	0
監督	小川 秀之						0
コーチ	清水 ひろみ						0
合計			43	5	11	6	10

Team B		浜松学院					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	伊藤 颯太	×	12	2	1	4	1
5	田中 旭	×	23	0	10	3	0
6	青島 和哉	×	7	0	3	1	1
7	横川 真那斗	×	12	2	3	0	1
8	杉山 慧輔	×	4	0	2	0	2
9	岩ヶ谷 晋作	/	0	0	0	0	2
10	小林 大希	/	0	0	0	0	0
11	永田 雅敬	DNP	0	0	0	0	0
12	池本 遊	/	3	1	0	0	1
13	玉木 紀行	/	0	0	0	0	1
14	石橋 大夢	DNP	0	0	0	0	0
15	石川 晴道	/	1	0	0	1	2
16	小川 博行	DNP	0	0	0	0	0
17	常田 耕平	/	2	0	1	0	0
18	亀山 憧弥	DNP	0	0	0	0	0
監督	森下 貴之						0
コーチ	石川 友康						0
合計			64	5	20	9	11

【戦評】

近畿ブロック代表、稲枝対東海ブロック1位の浜松学院の対戦。第1Q、稲枝はマンツーマンDef、浜松学院は、1-3-1のゾーンDefでスタート。浜松学院の長身センター#5を軸に3P、ドライブをからめ着実に得点を重ねる。稲枝はゾーンDefに苦しむが、#4のインサイド・アウトサイド、そしてアーリーOffで対抗するが、15-7浜松リードで第2Qを迎える。第2Qも同様の展開でスタート。3分過ぎ、稲枝は#4、#7のミドルシュート、#5、#7の3Pで同点に追いつく。5分、浜松学院のタイムアウト後、センター#5の連続ポイントや#7のゴール下などで27-19浜松学院リードで前半を終える。

第3Q、一進一退の攻防がつづく中、浜松学院は、オールコートで相手のガードにプレッシャーをかけミスを誘い、セットOffでも#5のセンターを中心に次第に差を広げる。4分、稲枝タイムアウト後、#4のアウトサイドシュートで対抗するが、じわじわと点差が広がり、45-28の17点差で第3Qを終了する。第4Q、稲枝は1-4フォーメーションから、#5の3Pの連続ポイントやオールコートマンツーマンで粘りを見せる。しかし、#5のセンターを中心にしたゾーンDefやOffで安定した試合運びを展開した浜松学院が64-43で勝利した。

【戦評記入者】

兼子 修

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部